

# 外国語活動学習指導案

## 1. 単元名 道案内をしよう (Hi, Friends! 2 Lesson 4)

### 2. 単元とその指導について

本単元では、方向を表す表現を使って、道案内を体験する。道案内という活動は、実際には言葉だけで行うのは非常に難しいものである。しかし、言葉だけでは難しいだけに、地図を使うといった工夫ができるし、色々な表現が役立つ教材である。情報のギャップ（尋ねる側と答える側の情報の差）があるが、目的地へ行きたいという思いは非常に高いものなので、積極的に児童を参加させることができ得る。実生活では、地図上で「ここです」と説明したり、実際に連れて行ったりするという行為で道案内が可能であり、方向を表す **right/left** などは、非常に役立つ表現である。つまり、難しいだけに、伝える工夫ややりとりが生まれると考えられる。

また、日本を訪れる外国人数の増加や外国へ行く日本人数の増加は、実生活においても道を説明したり、尋ねたりという機会の増加を意味している。そのため、このような学習の必要性は高い。

ここでは、道案内をするにあたり、方向を表す表現に加え、児童の実生活に密着した建物の名前についても体験的に学習する。建物を表す表現は日常生活と深くかかわっているため、毎日の生活の中で自然に繰り返し触れることができる題材としても有効である。また、コンビニエンス・ストアやデパートなど、カタカナになっているものを扱うことで、英語と日本語の発音やアクセントとの違いに気付かせることも可能である。

活動の中には遊びやゲームの要素をとり入れ、変化に富んだ色々な活動仕組むことで、楽しみながら進めることができるようにする。

活動の中では、できるだけ簡単な英語を使った道案内を体験することで、建物の名前や自分の町への興味・関心をもたせたり、道案内への抵抗を少なくすることで、積極的な活動へと導く。それと同時に正確に相手に情報を伝えることの大切さを実感させたい。

なお、よりよいクラスの仲間づくりにつなげていくためにも、また、英語も結局は日本語と同じコミュニケーションの道具の一つであることを自然に理解させるためにも、無理のない活動の場づくりを心掛ける。そのため、英語を発することが難しい児童に対しては非言語表現も可とし、コミュニケーションが図れることを第一としていく。

### 3. 単元の目標

- 英語で道案内をすることのマナーを理解したり、外国の地図に興味をもつ。【気】
- 積極的に英語を使って道を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。【コミュニケーション】
- 建物の名前や道案内の表現に慣れ親しむ。【慣れ親しみ】

### 4. 評価規準

- 建物を表す言葉の英語と日本語の発音やアクセントの違いを理解する。(振り返りカード点検)【気】
- 方向や動きを指示する表現を聞きとって、散歩・散策を楽しもうとする。  
(行動観察・Hi, Friends!・振り返りカード点検)【慣】
- 方向や動きを指示する英語を聞きとって、目的地に到着しようとする。  
(行動観察・ワークシート・振り返りカード点検)【コ】
- 方向や動きを指示する英語(表現)を使って、積極的に道案内をしようとする。  
(行動観察・ワークシート・振り返りカード点検)【コ】
- 人にもものを探ねるときや頼むときのマナーや言い方を理解する。(行動観察・振り返りカード点検)【気】

5. 指導計画

次数	学習活動	観点
第一次	・町の中にある色々な建物の言い方を知ろう。 ・方向や動きを指示する表現を知り、指示に従って地図上を散歩しよう。	【慣】 【気】
第二次	・Hi, Friends! 2 の町の地図を使いながら、道案内の仕方を確認しよう。 ・自分のオリジナルタウン地図を作成し、町紹介の仕方を確かめよう。	【慣】 【気】
第三次	・前時に作った地図を使って、先生や友達と自分の町紹介をし合おう。 ・校区の地図を使って、道案内をし合おう。	【コ】 【気】
第四次 (本時)	・外国の地図を使って、道案内をしよう。 ・長崎の地図を使って道案内をし合いながら、長崎の街を散策しよう。	【コ】 【気】

6. 本時のめあて

- マナーを意識しながら方向や動作を指示する英語（表現）を使って、道案内をしようとする。【コ】【気】
- マナーを意識しながら方向や動作を指示する英語（表現）を聞いて、目的地に向かおうとする。【コ】【気】

7. 本時の指導計画（4/4）

学習過程 (時間)	児童の学習活動	T1 と T2 の支援活動	ALT's Activity	準備するもの
挨拶  復習 (5分間)	<b>【Let's Play!】</b> 命令ゲーム  (又は) <b>【Let's Chant!】</b> デジタル映像を見て、動作をつけながら	<b>【Let's Play!】</b> 命令ゲーム  (又は) <b>【Let's Chant!】</b> “Where is the station?”	<b>【Let's Play!】</b> <u>I say game</u> Go straight. Turn left. Turn right. Stop. etc. (or) <b>【Let's Chant!】</b> Doing together!!	デジタル映像 p.30
本時の中心 的活動 (30分間)	<b>【Let's warm up!】</b>  Turn right. Go straight. Turn left. Go straight. Turn right. Go straight. Go straight. Turn left. Go straight and stop. Turn right. Here is park.	<b>【Let's warm up!】</b> 1. どの道を通るか確認する。 2. みんなで道案内をする。  T1 は、子どもたちの指示を繰り返し言い、 T2 は、子どもたちの指示を動作化する。	<b>【Let's warm up!】</b>  I'm here ( school ). ① Where is park? ② Where is car shop?  Drawing lines in accordance with students' instructions.	外国のある街の 地図

	<p><b>【Let's Activity 1】</b></p> <p>A ; <b>Excuse me.</b>  B1 ; <b>Yes.</b>  A ; Where is ~?  B1 ; Go straight .  A ; <b>Thank you.</b>  B1 ; <b>You're welcome.</b></p> <p>A ; <b>Excuse me.</b>  B2 ; <b>Yes.</b>  A ; Where is ~?  B2 ; Turn left ( right ).  A ; <b>Thank you.</b>  B1 ; <b>You're welcome.</b></p> <p>⋮</p> <p>B ; …and stop, Turn left ( right ).  Here is ~.</p> <p>Group A; 修学旅行生  Group B; 街の人</p>	<p><b>【Let's Activity 1】</b></p> <p>T1 ALT と例を示す  T2</p> <p>人にものを尋ねるとき  の大事なマナーを確認する。</p> <p>Excuse me./ Thank you.  を言いながら目的地を尋ねることを意識させる。  英語で尋ねるのが難しい児童には、一緒に言ったり、Where?と言いながら地図上の場所を指さすことで通じることも伝えたい。</p> <p><b>T1;内</b>  <b>T2;外</b></p> <p>指示に従うのが困難なグループに寄り添い、一緒に指示に従う。</p>	<p><b>【Let's Activity 1】</b></p> <p>Demonstration with T1</p> <p>Helping students' (B) guidance to the destination</p>	<p>目的地カード  ロードテープ  (床に貼っておく)</p> <p>Group A;  長崎県の地図  筆記用具</p>
	<p><b>【Let's Activity 2】</b></p> <p>Group A; 街の人  Group B; 修学旅行生</p> <p>交代して同じように活動する。</p>	<p><b>T1;内</b>  <b>T2;外</b></p> <p>指示に従うのが困難なグループに寄り添い、一緒に指示に従う。</p>	<p>Helping students' (A) guidance to the destination</p>	<p>Group B;  長崎県の地図  筆記用具</p>
<p>まとめ  (10 分間)</p>	<p>本時の振り返り  振り返りシートに記入する。</p>	<p>本時の活動を振り返らせ、振り返りシートに記させる。  何人か選び、紹介しながら、よいモデルを示す。</p>	<p>Study Comment  Greeting</p>	
	<p>学習のまとめ  挨拶  Good-bye. See you.</p>	<p>学習のまとめ  挨拶  Good-bye. See you.</p>	<p>Good-bye. See you.</p>	

人にものを尋ねるとき  
の大事なマナーを確認する。

Excuse me./ Thank you.  
を言いながら目的地を尋ねることを意識させる。  
英語で尋ねるのが難しい児童には、一緒に言ったり、Where?と言いながら地図上の場所を指さすことで通じることも伝えたい。

Excuse me./ Thank you.  
と言われた時の返事  
Yes./ You're welcome.  
を言わせたり、英語が難しい児童には、非言語で道案内してもよいことを伝えながら一緒に道案内をする。

**T1;内**  
**T2;外**

指示に従うのが困難なグループに寄り添い、一緒に指示に従う。

A マナーを守りながら、積極的に英語を使って、道を尋ねたり、道案内したりしようとしている。  
B 道を尋ねたり、道案内したりしようとしているが、マナーの意識が薄い。  
→お互いが気持ちよく会話するためのあいさつや表情は大切であることを伝えながら、Excuse me.—yes./ Thank you./ You're Welcome.の言葉をつけながら会話しようを声をかける。  
C 道を尋ねたり、道案内したりするのに消極的である。  
→T1 や T2 や ALT と一緒に活動したり、非言語を使ったりしてもよいことを伝え、会話が楽しめるように支援する。

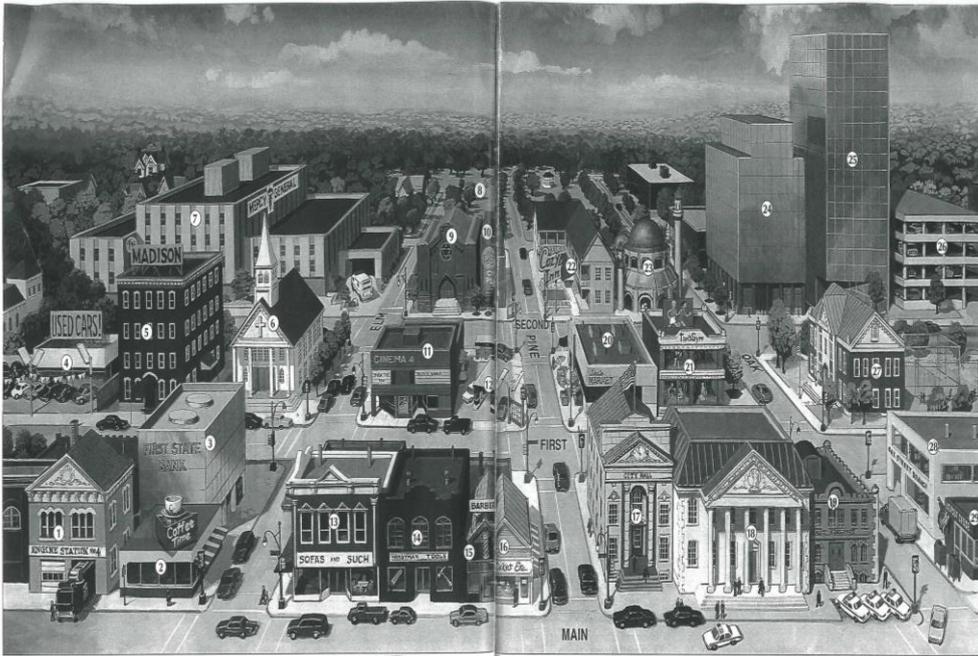
**T1;内**  
**T2;外**

指示に従うのが困難なグループに寄り添い、一緒に指示に従う。

## 10. 評価

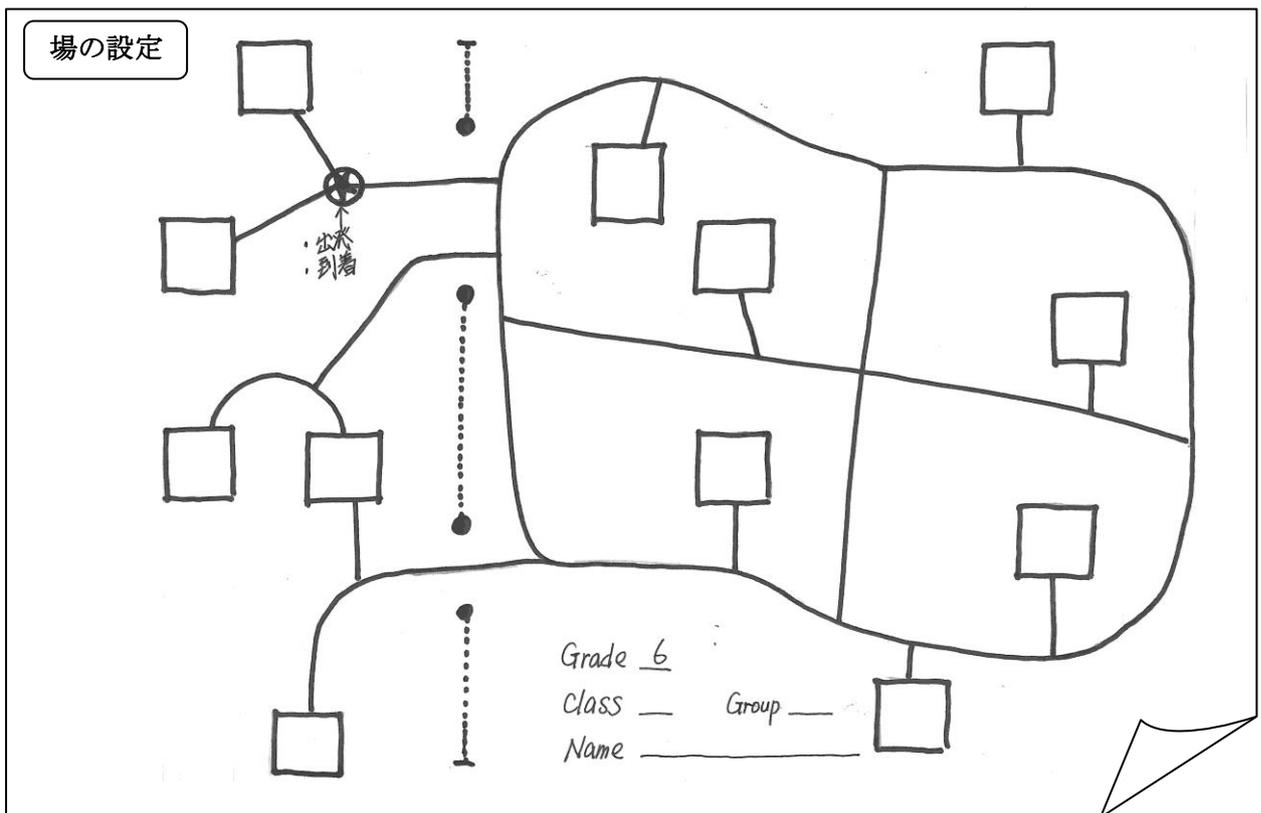
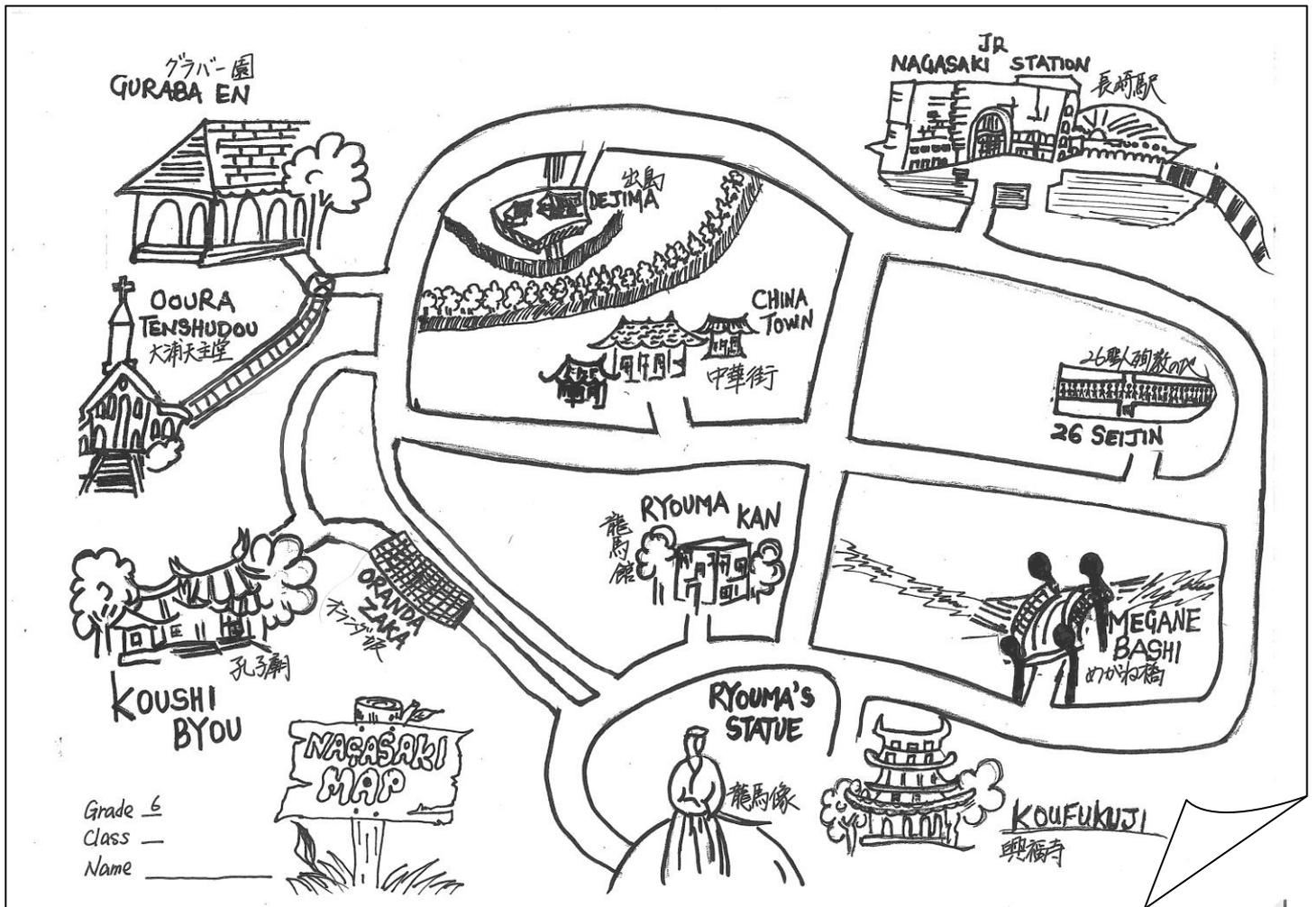
- マナーを意識しながら方向や動作を指示する英語（表現）を使って、道案内しようとしていたか。  
A; Excuse me. に対して Yes. / Thank you. に対して You're welcome. と言いながら、英語で道案内している。  
B; 英語を使ったり非言語を使ったりしながら、自分なりに道案内している。  
C; ALT の支援を受けながらも、何とか、道案内している。
  
- マナーを意識しながら方向や動作を指示する英語（表現）を聞いて、目的地に向かおうとしていたか。  
A; Excuse me. / Thank you. ときちんとした挨拶をしながら、道案内を受けて、目的地に向かっている。  
B; 道案内を受けて、目的地に向かっている。  
C; T1 や T2 の支援を受けながら、どちらに向かえばよいかを判断し、目的地に向かおうとしている。

### \*資料1 「外国の地図」



- |          |           |              |         |          |           |
|----------|-----------|--------------|---------|----------|-----------|
| 1. 消防署   | 6. 教会     | 11. 映画館      | 16. パン屋 | 21. 体育館  | 26. 立体駐車場 |
| 2. コーヒー店 | 7. 病院     | 12. ガソリンスタンド | 17. 市役所 | 22. 宿泊所  | 27. 学校    |
| 3. 銀行    | 8. 公園     | 13. 家具店      | 18. 裁判所 | 23. 寺院   | 28. 図書館   |
| 4. 車屋さん  | 9. ユダヤ人協会 | 14. 金物屋      | 19. 警察署 | 24. 会社   | 29. 郵便局   |
| 5. ホテル   | 10. 劇場    | 15. 床屋       | 20. 市場  | 25. 高層ビル |           |

\*資料2 「長崎市の地図」



# 振り返りカード 道案内をし合おう Lesson 4 Part 4

Grade 6 Class \_\_\_\_ Name; \_\_\_\_\_

☆ 何人の先生と初対面のあいさつを交わしましたか？ ( ) 人

☆ 外国の地図を使ったとき、積極的にALTの先生から尋ねられた場所への道案内をしましたか。

◎ ○ △

☆ 道を尋ねるときや案内するとき、どんなマナーを意識しましたか。

☆ 長崎市内の地図を使っての活動では、スムーズに道案内の会話が進みましたか。

\*目的地を尋ねたとき ◎ ○ △

\*道案内をしたとき ◎ ○ △

☆ 今日の活動の振り返りを書きましょう。(楽しかったこと、難しかったこと、嬉しかったこと等)

